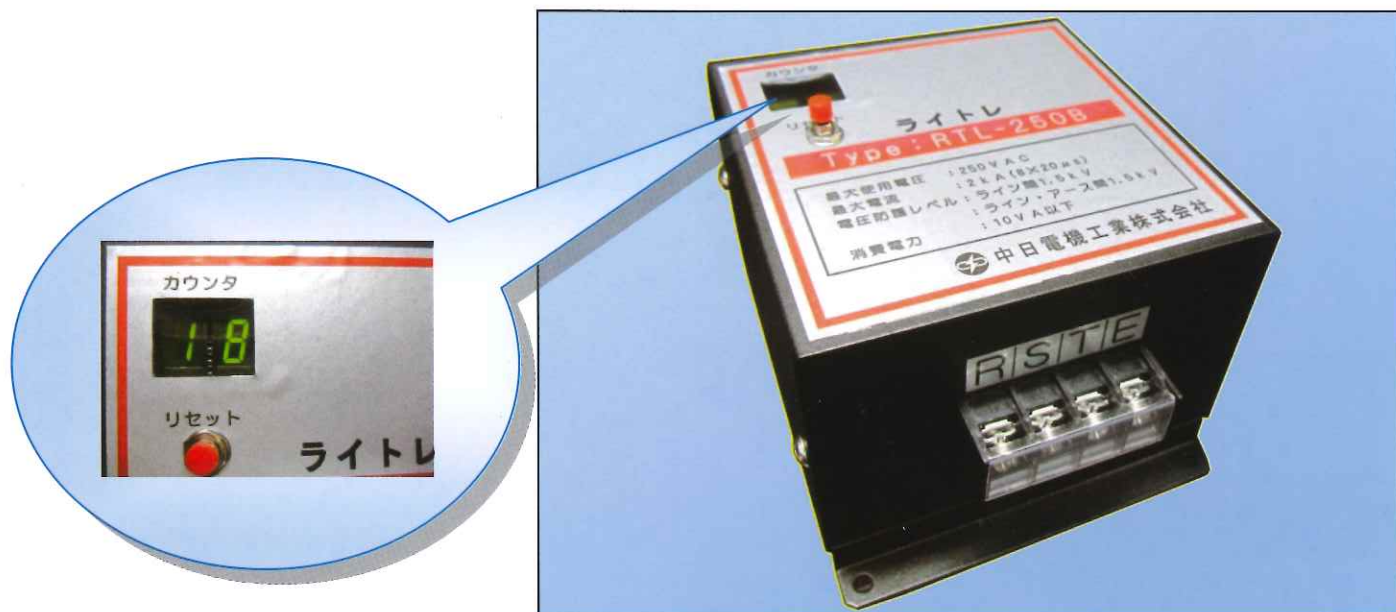


# カウンタ機能付ライトレ 形 RTL-250B



## ■ 特 徴 ■

- サージ検出カウンタのデジタル表示機能を内蔵
- 1台で線間・対地間を保護
- 取り扱いや取り付けが非常に簡単
- 繰返しサージに強く長寿命
- 雷サージに素早く動作し機器を保護

## ■ 代表的使用例 ■

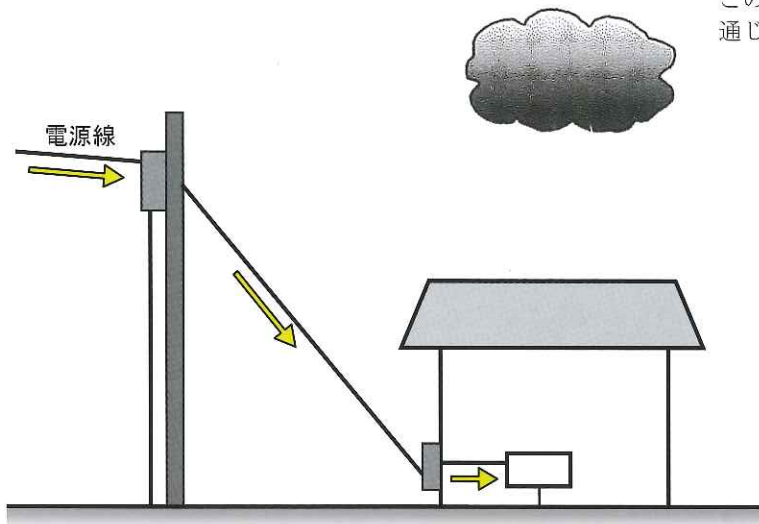
- NC工作機、放電加工機、制御機器、通信機器等

## ■ 定格／性能 ■

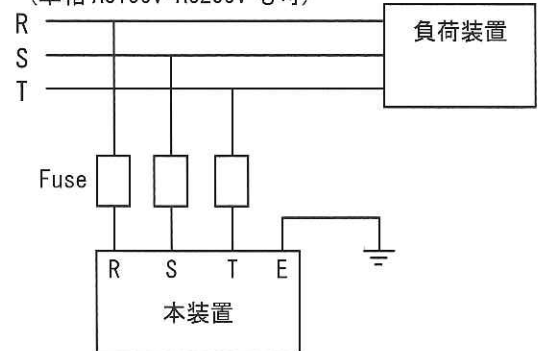
型名	RTL-250B	
最大使用電圧	AC250V	
最大電流	2kA (8×20 μ S)	
電圧防護レベル	ライン間	1.5kV
	ライン・アース間	1.5kV
消費電力	10VA 以下	
使用温度・湿度範囲	0～40℃・25～80%RH	
外形寸法・重量	100(W)×120(D)×75(H)・約 1kg ※突起部含まず	

## ■ 誘導雷サージの侵入

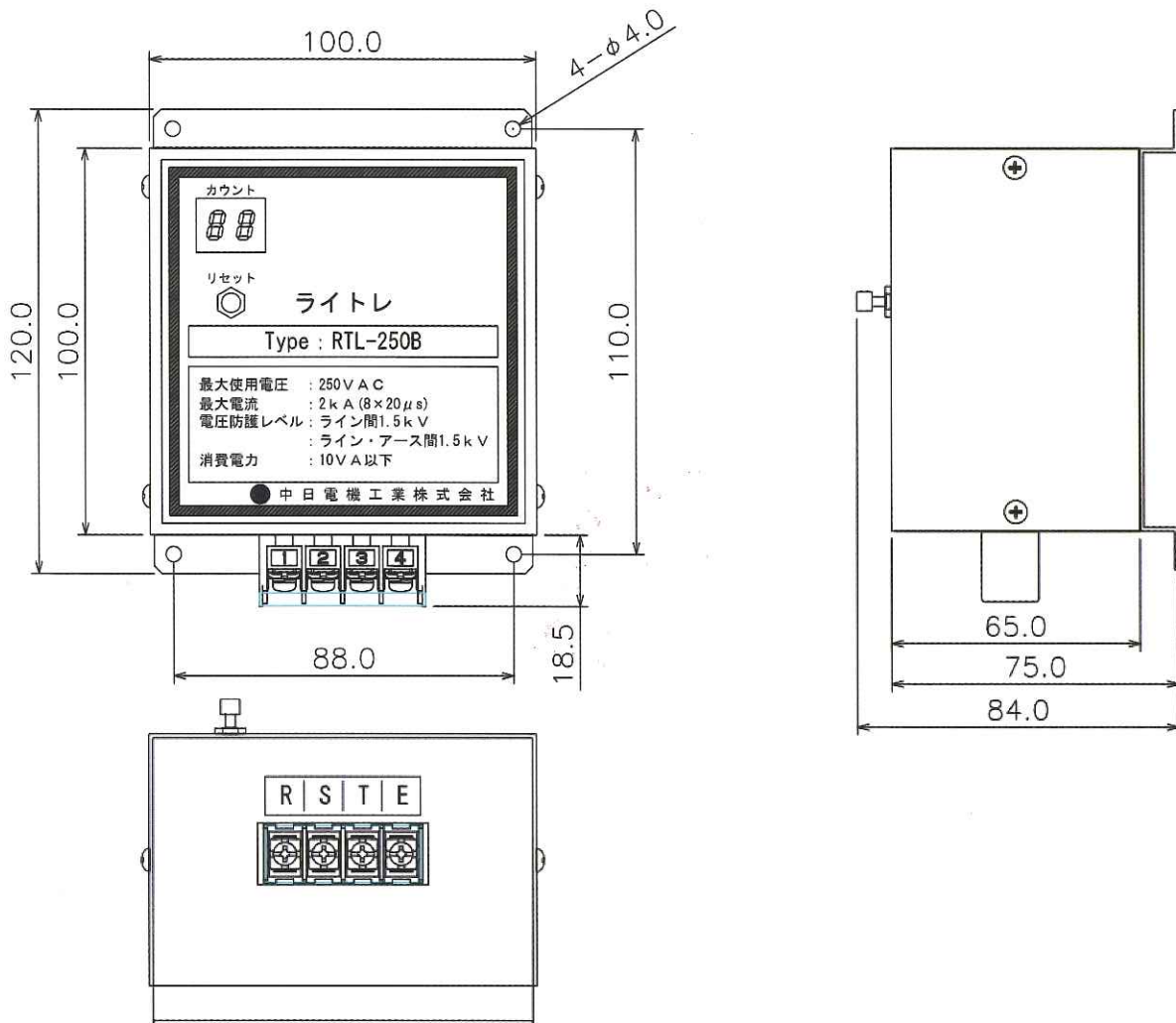
この様に生じた誘導雷サージは、電源線などを通じて電子機器へ侵入します。



《三相 3 線 AC200V の場合を示す》  
(単相 AC100V・AC200V も可)



## ■ 外形図 ■



中日電機工業株式会社

〒454-0037 愛知県名古屋市中川区富川町五丁目2番の6  
TEL:052-362-3651(代) / FAX:052-362-3668  
URL: <http://www.chunichi-dk.co.jp>

# カウンタ機能付ライトレ (RTL-250B) 取扱説明書

## 1 製品概要

本装置は、サージカウント機能を持ったラインサージプロテクタ装置で、サージ入力をカウント表示する事により、ラインサージのプロテクトとサージ入力の有無を確認する事を可能にした装置である。サージカウント数により装置寿命を推察することも可能となる。ただし、直撃雷サージについては、保護の対象としておりません。

## 2 各部説明

### 2-1 正面パネル部

#### 2-1-1 サージカウント表示

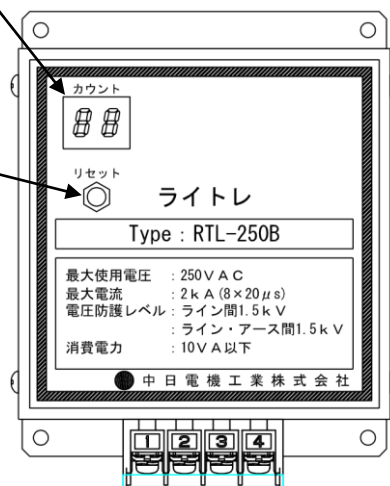
2桁のLED数字表示器で、サージ入力の回数を表示する。

#### 2-1-2 リセットスイッチ

サージカウントのリセットスイッチで5秒間以上押し続けるとカウント表示を"00"にする。

サージカウント表示

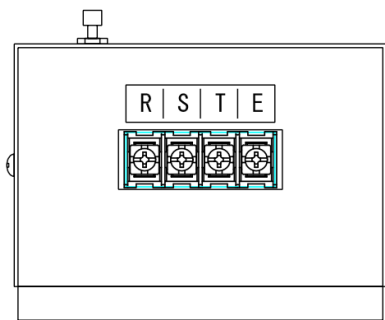
リセットスイッチ



### 2-2 端子台接続部

三相3線 AC200V の場合は、  
『R』『S』『T』を『アース』と共に接続する。

単相の場合、もしくは AC100V の場合は、  
『R』『S』に『アース』と共に接続する。



### 3 設置

#### 3-1 取付

4 個のφ4 取り付け穴で制御盤中板等にネジ止めする。

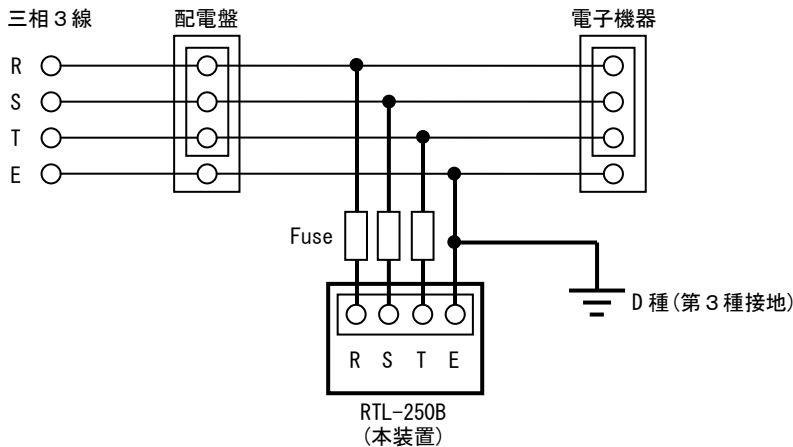
#### 3-2 接続

下記結線図を参考に確実に配線し、使用電線は直径 1.6mm 以上を使用のこと。

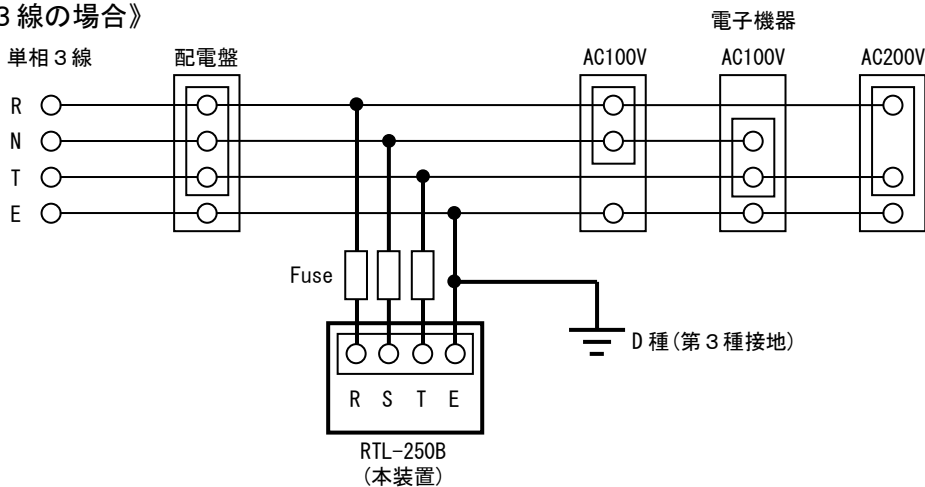
(ライトレは寿命などでショートモードとなる場合があるので切り離せること。

また、メガテストを実施する場合は取り外して下さい)

##### 《三相 3 線の場合》



##### 《单相 3 線の場合》



#### 3-3 稼働

電源を投入し数字表示器の”00”表示を確認する。

数字表示器が”00”表示でない場合はサージカウンタのリセットボタンを 5 秒以上押し、”00”表示にリセットしておく。

#### 3-4 運用

異常電圧が発生すると数字表示が加算するので異常電圧の有無、ライトレ寿命の参考となる。



## 9 保証期間および範囲

無償保証期間は、商品納品後1年間とします。

ただし次に該当する場合は、この保証の対象から除外いたします。

- 故障の原因が本製品以外の事由による場合。
- 当社以外の者による改造・修理による場合。
- 製品本来の使い方以外による場合。
- 本書「使用上の注意」による事項に反した場合。

## 10 使用上の注意

- 本製品を使用したことによって生じた、いかなる二次的損害に対しても一切の責任は負いません。
- 本製品を当社指定修理技術者以外が分解、修理、改造することは絶対に行わないで下さい。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 本製品は防爆型ではありません。
- 本製品は防水仕様ではありませんので、雨、雪のあたる場所での使用は避けてください。また、結露させないで下さい。
- 酸、アルカリ、有機溶剤、腐食性ガス等の影響を受ける環境では使用しないでください。
- 定められた電圧で使用して下さい。使用範囲外の電圧で使用すると、故障の原因になります。
- 機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。汚れがひどい時は、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。ベンジン、シンナーなどは使用しないで下さい。
- ご使用前には「取扱説明書」を全て読み終わり熟知した後、ご使用ください。